

## 第1回 横浜市民ギャラリーあざみ野指定管理者選定評価委員会 議事録

- 1 日 時 令和6年4月5日（金） 13時30分から15時15分まで
- 2 場 所 横浜市役所18階会議室（さくら14）
- 3 出席者 市川 泰憲 委員、加世田 恵美子 委員、河原 啓子 委員、竹森 順一 委員、山村 仁志 委員
- 4 傍聴者 無し
- 5 議事内容

議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員長選出</li> <li>2 定足数の確認</li> <li>3 委員会の公開・非公開について</li> <li>4 議題1：横浜市民ギャラリーあざみ野第5期指定管理者選定スケジュール</li> <li>5 議題2：指定管理者公募関係資料について</li> <li>6 その他</li> </ol>
議事・ 委員意見等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員長選出 「横浜市民ギャラリーあざみ野指定管理者選定評価委員会運営要綱」第6条第1項に基づき、委員の互選により山村委員を委員長に選任した。</li> <li>2 定足数の確認 委員数5名のうち5名の出席により定足数を満たしており、会議の成立を確認した。</li> <li>3 委員会の公開・非公開について 「議題1：横浜市民ギャラリーあざみ野第5期指定管理者選定スケジュール」及び「議題2：指定管理者公募関係資料について」の審議については、会議を非公開とした。</li> <li>4 議題1：横浜市民ギャラリーあざみ野第5期指定管理者選定スケジュール 事務局から選定スケジュールについて説明、承認された。</li> <li>5 議題2：指定管理者公募関係資料について 事務局から公募関係資料（公募要項、業務の基準、提案課題、評価規準項目等）の説明を行い、委員の意見交換を行った。</li> </ol> <p style="text-align: center;"><b>【主な委員意見及び事務局回答】</b></p> <p>(1) 公募要項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館法が変わったことによる影響はあるか。 →当館は博物館法で定める登録博物館でも指定施設でもなく、そのことによる大きな変更点はない。</li> <li>・指定管理料の上限額はどのように決まるのか。 →基本的には当初設定した金額で5年間運営していただく。令和4年から5年度の予算・決算を参考に算出している。リスク分担表にあるとおり賃金の上昇・社会情勢・物価上昇などによる多大なリスクは横浜市側で負担し、毎年度変動</li> </ul>

する。

- ・昨今のインフレの影響は。  
→令和5年度から光熱費の高騰を踏まえて、指定管理料を一律上昇させている。

## (2) 業務の基準

- ・写真・カメラが表にでてきている。これがどのような形で展示に繋がるか楽しみ  
にしている  
→使命2として重点化しており、その保存と活用を掲げている。
- ・使命1から6は第4期と比較すると変わっている。今期変えたポイントを説明し  
てほしい。  
→当課で所管している文化施設において、公募の際に使命を掲げたのは当館が最  
初となり、以後の公募選定の中で使命の項目立てが整理されてきた。昨今市が  
力を入れている次世代育成・社会包括・地域との連携を明確に示し、使命1に  
持ってきた。続いてコレクションの活用、貸館、自主企画を使命に掲げている。
- ・4期は市の北部地域が特色として出ており北部地域に根差した施設という印象で  
あったが今回はその特色が薄まった印象となる。アートを通じた地域の課題解  
決・発信拠点も大事だと思っている。  
→横浜市北部地域における美術を核とした文化芸術活動の拠点施設としての求め  
る役割を入れており、そのあと使命に繋がっている。特色として変わらないが、  
使命にも北部地域を核とする内容を入れた方がわかりやすいので使命欄の表現  
を見直し修正する。
- ・使命と役割はどのように使い分けているのか。使命が全市的な共通認識としてあ  
るのか。  
→使命は文化施策のビジョン。全市共通ではなく当館施設独自のカメラコレクシ  
ョンや次世代育成も横浜市民ギャラリーあざみ野として書いている。役割はよ  
り具体的な取組みを入れている。
- ・利用者の声を聴く仕組みがあまり前面に出てこない。市民ニーズを取り込むこと  
は大事だと思うが考えを聞かせてほしい。  
→利用者の声を聴くことは大事なこと。盛り込めていなかったのを見直したい。
- ・男女共同参画センター横浜北との連携について、留意事項ではなく要求水準とし  
て分かりやすい位置に入れた方がよいのでは。  
→事務室は同じ場所にあり、日ごろから連携して運営している。連携について、  
分かりやすく文章化したい。
- ・施設で魅力的な事業をしているということが情報提供できていない施設が多くあ  
る。広報の仕方や取組みについて、さらっと書かれているが広報の仕方は大事で  
どこの施設も手薄に感じている。伝わる努力をしてほしい。提案の中で強く盛り  
込んだ内容となるとよいのでは。  
→施設や事業内容の魅力を広くPRするという提案を要求水準として強く書くよ  
う見直したい。
- ・あざみ野といえばカメラ・写真コレクションとうことが浸透していない。もっと  
アピール・活用できる提案があるとよい。

	<p>→カメラ及び写真の収蔵・保管・調査・研究・発表及び活用について記載しているが、よりアピールできる提案を求めて、表記を見直したい。</p> <p>(3) 提案課題及び評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使命6だけ配点が5点の理由は？社会情勢の変化への対応は大事だと思っている。大きな社会情勢には地球温暖化や物価上昇・少子高齢化・AIなどもある。常に変化していく気概が持続可能な施設運営に繋がる。</li> <li>→コロナ禍を想定して使命6を追加した経緯がある。そのため、配点は5点とした。それ以外の社会的変化に対しても柔軟な対応を求めるとし、使命6について、文言を追記しながら配点も他と同水準に見直したい。</li> <li>・5年間の収支及び収支バランスの様式について、本部経費を計上する場合は計上基準も合わせて書いていただきたい。本部経費の采配による収支のコントロール状況を確認したい。</li> <li>→記入していただくよう様式に追記する。</li> <li>・使命の配点について使命1から6まで同じ配点で整理できたらと思うがいかがか。差をつけると使命の軽重をつけてしまうことになる。</li> <li>→使命1から6まで同配点でよいと思う。</li> </ul> <p>6 その他</p> <p>次回委員会は8月中旬の開催予定とし、別途委員の日程調整のうえ確定する。</p>
審議結果	<p>公募要項、業務の基準、提案課題、評価規準項目について、各委員の意見を踏まえ、委員長と調整を行ったうえで確定する。確定した公募関係書類は、各委員に送付するとともに本市ウェブサイト上で公表を行う。</p> <p>また、議事録については委員長確認後に確定のうえ、公表する。</p>